

川崎重工業株式会社

2026 年 9 月 2 日

環境省「令和 8 年度公共施設を主体とした地域での炭素循環事業モデル実証事業」に採択

川崎重工は、環境省委託事業「令和 8 年度公共施設を主体とした地域での炭素循環事業モデル実証事業委託業務」において、「郡山市における一般廃棄物処理施設を主体とした炭素循環事業モデル実証事業」（以下、本事業）を提案し、採択されました。

本事業では、郡山市富久山クリーンセンターに当社が試験用として設置し、2026 年 5 月より稼働している CO₂ 分離・回収設備「Kawasaki CO₂ Capture (KCC)」※¹にて、回収した CO₂ を資源として活用し、地域内で循環利用する「郡山モデル」の実現を郡山市及びエア・ウォーター東日本株式会社、東部ガス株式会社、日東紡績株式会社と共に目指します。なお、事業実施期間は令和 8 年度から令和 11 年度までを予定しております。

「郡山モデル」は一般廃棄物処理施設の排ガスから回収した CO₂ を「はこぶ」、CO₂ を原料として合成メタンを「つくる」、製造した合成メタンを地域で「つかう」という CCU サプライチェーンを構築し、地域の脱炭素化実現に貢献するものです。関係者と連携し、本事業を通じて「郡山モデル」の実現と普及に向けて取り組んでいきます。

また本事業は、2025 年 8 月に郡山市と当社及びエア・ウォーター東日本、東部ガス、日東紡績の 5 者間で締結した「資源循環及び脱炭素化の推進に関する連携協定」※²の取り組みを具体化し、CCU サプライチェーン構築に向けた実証を実施するものです。

当社は今後も、自治体および地域事業者との連携を通じて、地域特性に応じた CCU サプライチェーンの構築・普及に取り組み、資源循環と脱炭素化の両立に貢献してまいります。

※1：CO₂ 分離回収技術 <https://www.khi.co.jp/energy/co2sr/>

※2：郡山市におけるごみ焼却施設から排出される CO₂ を活用した資源循環及び脱炭素化の推進に関する連携協定を締結（2025 年 8 月 20 日）

https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20250820_1.html

【参考リンク】

令和 8 年度「公共施設を主体とした地域での炭素循環事業モデル実証事業」の採択について
（環境省報道発表）

https://www.env.go.jp/press/press_05509.html

国内初、ごみ焼却施設の排ガスから固体吸収法で CO₂ を分離・回収する技術の共同実証に合意（2023 年 2 月 10 日）

https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20230210_5.html

新開発の低濃度 CO₂ 分離回収技術の実証設備を神戸工場内に整備（2025 年 7 月 14 日）

https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20250714_1.html

郡山市富久山クリーンセンターにおいて、 当社初となるごみ焼却の燃焼排ガスを対象とした CO₂ 分離回収実証試験を開始（2026 年 6 月 3 日）

https://www.khi.co.jp/pressrelease/detail/20260603_2.html

以 上